

国語科学習指導案

府中市立南小学校 教諭 芝山 真樹子

1 日時 平成25年6月24日（月）～7月1日（月）

2 学年 第5学年 男子14名 女子17名 計31名

3 単元名 筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう
教材：「見立てる」「生き物は円柱形」（『国語五 銀河』光村図書 平成22年）

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成20年）の国語第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を受け設定した。本単元では、文章を読みながら筆者が何を理由に、どのような例を根拠にして読者に分かりやすく工夫した述べ方をしているかを読み取り、筆者の主張に対して意見を述べることをねらいとする。

教材文「見立てる」「生き物は円柱形」は、筆者独自の考えが、文章の末尾に書かれており、残りの段落は論証をしている。筆者が主張の根拠を挙げ、自分の考えを示し、読者を納得させようとする文章である。また、読者を納得させるために用いている優れた叙述や、構成の工夫により論が展開されている。よって、筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつことに適した教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は、説明的な文章を読み、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を読み取り、要約する学習を行ってきた。その結果、各段落のキーワードを見付け、そのキーワードをつなげて要約文を作ったり、中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、読んだりできる児童が多い。しかし、筆者が工夫している構成や例えの用い方に気付いたり、筆者の主張に自分の意見をもったりできる児童は少ない。交流についても、自分の意見を伝えることのみに終わっており、友だちの意見を自分の意見に取り入れようとしたり、自分の経験や知識と関係付けて考え、意見を伝えたりすることができる児童は少ない。

(3) 指導観

指導に当たっては、第一に文章の要旨を読み取り、第二に筆者の主張に対する自分の意見をもたせる。第三に主張を述べるためのすぐれた叙述や構成の工夫を読み取って、自分の経験や知識と関係付けて自分の意見を述べさせる。そのために次の3点について工夫する。

1点目は、「思考構成シート」の活用である。「思考構成シート」は、観点に沿って読んだことを書き込めるようにしたワークシートである。このシートは三段組みとする。「思考構成シート」の活用にあたり、step1からstep3の手引きに沿って文章を読み取らせる。要旨を捉えるために、各段落の要点を読み取り、構成の工夫を把握し、筆者の主張に対する自分の意見をもたせるようにする。読み取ったことを、思考構成シートのⅠからⅢに書き込んでいくことで、児童自身が自ら思考の流れを整理し、表すようにさせる。筆者の主張に対して自分の意見を持ち、交流することを通して、意見に深まりをもたせるようにする。

2点目は、児童に自分の意見を必ずもたせる手立てとして、筆者の意見への賛否を問い、意見を書かせることである。そして、その意見の根拠を文章の叙述を基に書かせる。また、筆者の叙述の用い方や構成の工夫に気付かせるために、観点を提示する。

3点目は、友だちの意見を自分の意見の参考にしたり、自分の経験や知識と関係付けて読み取らせたりする手立てとして、交流の際に観点を提示し、それに基づいて思ったこと・考えたことを記入することである。自分が友だちの意見にどのようなことを思ったか、聞いてみたいことは何か等、自分から友だちへ向かって主体的に投げかけていく態度を養う。

5 単元を貫く言語活動とその特徴

文章を読んで自分の意見を交流したことを基に、意見文を書く学習を行う。単元の学習のはじめに、「文章を読んで自分の意見を意見文に書こう」と目指すゴールを児童に伝え、そのための学習活動を確認する。自分の意見を明確にもち、友だちと交流し合うことを通して、自分の意見を再構築できるようにする。これは、他教科・他の学習においても活用できるものである。

6 単元の目標

- 文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えに対して自分の今までの経験や知識と関係付けて自分なりの考えをもとめたり、述べようとしたりすることができる。

【国語への関心・意欲・態度】

- 筆者が話題としていることや主張していること、主張を述べるための理由や根拠を読み取り、自分の経験や知識と関連させながら自分の考えをまとめることができる。

【読むことウ】

- 文章の中で語句と語句との関係を理解すること。

- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(オ)(キ)】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元を貫く言語活動「要旨を捉え筆者の主張をつかみ主張に対して意見文を書こう」 ・自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。 【言語活動例イ】		
○文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えに対して自分の今までの経験や知識と関係付けて自分なりの考えをもとめたり、述べようとしたりしている。	○筆者が話題としていることや主張していること、主張を述べるための理由や根拠を読み取り、自分の経験や知識と関係付けながら自分の考えをまとめることができる。	○文章の中で語句と語句との関係を理解すること。 ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

8 指導と評価の計画（全 11 時間）

時間	学習活動	評価				
		関意態	読む	言語	評価規準	評価方法
1	○「筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ◎「思考構成シート」の活用の仕方を知る。 ○「見立てる」を通読し、文章構成をつかむ。	◎			◎「思考構成シート」を使って筆者の主張を捉え、意見を述べようとしている。 ○「見立てる」の文章全体を三つのまとまりに分けている。	思考構成シート 発言
2	○「見立てる」の文章構成をつかみ、「あや取り」の事例を挙げた意図について考えを出し合う。また、要旨をまとめ、それに対する自分の意見を表す。		◎		◎文章構成をつかみ、筆者の考えが短くまとめられている段落を見付け要旨をまとめている。	思考構成シート 発言
3	○「生き物は円柱形」の全文を読んで、学習計画を立てる。モデ			◎	◎全文を読んで、共感・納得したところ、疑問に思ったところを	ノート 発言

	ルの意見文を示し，単元のゴールとしての，学習のめあてをつかむ。		○		書いている。 ○筆者の考えについて，自分の意見をまとめようとしている。	
4 ・ 5	○「思考構成シート」を活用して，筆者が書いている叙述や事例の挙げ方などを読み取る。そしてまとまりごとに内容を把握する。 ○筆者が歩み寄りの文を書いていることの有効性を捉える。		◎		◎「思考構成シート」の観点に沿ってマークを付けている。 ◎「思考構成シート」をもとに確認した文章全体を三つのまとまりに分けている。 ○「中」のまとまりを前半と後半に分け，各段落のキーワードをつかんでいる。 ○逆接の接続語を使うことで，他の論を認めるが，筆者が自分の論を主張していることにも気付いている。	思考構成シート 発言
6 ・ 7	○「思考構成シート」を活用して，読者を納得させるための工夫を見付ける。 (本時) ○まとまりごとにつかんだ要点をつなげて要旨を捉える。		◎		◎筆者の構成の工夫や優れた叙述を読み取って評価し，自分の考えを明確にしながら読んでいる。 ◎キーワードをつなげて要点をつくり，そこから要旨を捉えている。	思考構成シート 発言
8 ・ 9	○「思考構成シート」を活用して読み取った筆者の主張に対して自分の意見を書く。 ○書いた自分の意見を基に，友達と交流し，自分との意見の違いを知り，関連性を見つけたり，比較したりして自分の意見に生かす。		◎		◎「思考構成シート」の読み取りの観点にそって主張を読み取っている。そして，筆者の主張に対して，自分の経験や知識と関係付けて自分の意見を表している。 ◎交流することで，自分と友達との関連性を見付けたり，比較したりして自分の意見に生かしている。	思考構成シート 発言
10 ・ 11	○「思考構成シート」を活用して，モデルを参考にして意見文を書く。	○	◎		◎既習事項を生かして意見文を書いている。 ○今までの経験や知識を関連付けて意見文を書いている。	思考構成シート 原稿用紙

9 本時の学習（第6時）

(1) 本時の目標

○筆者の構成の工夫や優れた叙述を評価しながら読むことができる。【読むことウ】

(2) 本時の評価規準

○筆者の構成の工夫や優れた叙述を読み取って評価している。

(3) 本時の展開

主な学習活動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。 筆者が工夫した構成の工夫や、すごいと思った言葉を見つけよう。 2 前時の学習を想起する。	○前時を想起させ、確認する。	
筆者の主張は、<u>たしかに</u> (A) <u>しかし</u> (B) よくある意見 筆者の意見 のどちらに書かれているかという、主張したいのはBであり、「しかし」の後が大切である。 単純にBを主張するよりも、Aに歩み寄ることでBの主張は受け入れやすくなる。		
3 筆者が主張を読者に納得させるために、どのような構成の工夫や叙述を用いているか見付ける。 期待する児童の姿	○次の叙述に着目させる。 書き出しの言葉 話題の進め方 例えの使い方 言葉遣い 文末の言葉	
<u>書き出しの言葉</u> 君の指を見てごらん。 実験してみよう。 <u>効果</u> 呼びかけている。読んでみようという気持ちになる。 <u>話題の進め方</u> 身の周りの植物や自分たちがよく知っている動物など、身近な生き物を使っている。 <u>効果</u> 読者を納得させるように書いている。 <u>例えの使い方</u> ミミズやヘビ、ウナギやネコやイヌなど誰もが知っているような動物を例に出している。 <u>効果</u> 読者を納得させようとしている。 <u>言葉遣い</u> 一文が短い。読者に投げかけているような言い方が多い。 <u>効果</u> 投げかけられている文を読むと読みたくなる。 <u>文末の言葉</u> ～だ。～である。という断定的な言い方が多い。 <u>効果</u> 言いたいことがはっきりしていて分かりやすい。		・筆者の構成や表現上の工夫について評価している。 B 呼びかけの言葉や～だ、～であるといった断定的な文末など、工夫点に気付いている。 (思考構成シート)
4 構成の工夫やすぐれた叙述を用いる効果について考えさせる。 5 本時のまとめと振り返りをする。	◆全部の項目を見付けられなくても見付けられたところからまとめる。 ○本時の学習で学んだことを短い言葉で書かせる。振り返りは項目に従って行わせる。	